

被証明者1人につき、証明者別に作成する。

00002

常勤役員等及び当該常勤役員等を直接に補佐する者の証明書

(1) 下記の者は、次のとおり第7条第1号ロ⁽¹⁾に掲げる経歴

建設業に関し、2年以上役員等としての経験を有し、かつ、5年以上役員等又は役員等に次ぐ職制上の地位にある者(財務管理、労務管理又は業務運営の業務を担当するものに限る。)としての経験を有することを証明する場合は(1)、5年以上役員等としての経験を有し、かつ、建設業に関し、2年以上役員等としての経験を有することを証明する場合は(2)を選択する。

役職名等 証明を受ける期間の役職名を記入する。(例)代表取締役、取締役、事業主、支配人

経験年数 平成27年4月から令和2年12月まで満5年8月

証明者と被証明者との関係 役員

備考

証明者が申請者以外の建設業許可業者である場合は、許可番号、許可日、許可業種を記入する。

令和2年4月1日

証明者は原則として証明する期間に在職していた法人の代表者、又は個人事業主とする。やむを得ない事情により、これらの者が証明できない場合は、その理由を備考欄に記入し、当該事実を証明できる者(当時の取締役等)の証明を得ること。

青森市長島1丁目1番1号
青森土木株式会社
証明者 代表取締役 青森 太郎

該当しない区分を消す。

(2) 下記の者は、許可申請者⁽¹⁾の常勤の役員⁽¹⁾で第7条第1号ロ⁽¹⁾に該当する者であることに相違ありません。

令和2年4月1日

~~地方整備局長~~
~~北海道開発局長~~
知事 殿

申請者
~~届出者~~
青森市長島1丁目1番1号
青森土木株式会社
代表取締役 青森 太郎

申請又は届出の区分 1 7 3 (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等の更新等)

許可申請の場合は「届出者」を消し、変更届の場合は「申請者」を消す。

項番17の区分が「2」又は「3」の場合に記入

変更の年月日 令和 年 月 日

更新、業種追加、般特新規等で従前の経營業務の管理責任者に変更がない場合は、区分「3」を選択する。

青森県知事 02 大臣コード

許可番号 1 8 国土交通大臣許可(般特-)第 号 令和 年 月 日

許可年月日

記

項番17が「1」以外の場合に記入する。許可日が複数ある場合は、最も古いものを記入する。右詰で記入し、左余白は「0」で埋める。

◎【新規・変更後・常勤役員等の更新等】

氏名のフリガナ 1 9 ク ド 3 姓の最初2文字を記入。濁音、半濁音も含んで1文字とする。

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏名 2 0 工 藤 生年月日 S 年 月 日

住所 青森市本町9番99号 姓と名の間は1マス空ける。法人の場合は登記事項証明書、個人の場合は住民票の字体で記入する。

◎【変更前】

項番17の区分が「2」の場合に記入

氏名 2 1 生年月日 年 月 日

備考 常勤役員等の略歴については、別紙による。

(第二面)

(3) 下記の者は、次のとおり5年以上の建設業の財務管理の業務経験を有し、上記の常勤役員等を直接に補佐する者として適切に配置するものであることに相違ありません。

令和 2 年 4 月 1 日

地方整備局長
北海道開発局長
青森県 知事 殿

青森市長島1丁目1番1号
申請者 青森土木 株式会社
届出者 代表取締役 青森 太郎

役職名等 工事部長

許可申請の場合は「届出者」を消し、変更届の場合は「申請者」を消す。

経験年数 平成 27 年 4 月 から 令和 2 年 12 月 まで 満 5 年 8 月

証明者と被証明者との関係 社員

備考

申請又は届出の区分 2 2 1 (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等を直接に補佐する者の更新等)

項番17の区分が「2」又は「3」の場合に記入

変更の年月日 令和 年 月 日

更新、業種追加、般特新規等で従前の経營業務の管理責任者に変更がない場合は、区分「3」を選択する。

青森県知事 02 大臣知事コード

許可番号 2 3 国土交通大臣知事許可(般特-) 第 号 許可年月日 令和 年 月 日

項番17が「1」以外の場合に記入する。許可日が複数ある場合は、最も古いものを記入する。右詰で記入し、左余白は「0」で埋める。

◎【新規・変更後・常勤役員等を直接に補佐する者の更新等】

氏名のフリガナ 2 4 ク ド 元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

姓の最初2文字を記入。濁音、半濁音も含んで1文字とする。

氏名 2 5 工 藤 四 郎 生年月日 S 6 0 年 0 4 月 0 1 日

住所 青森市本町9番99号 姓と名の間は1マス空ける。法人の場合は登記事項証明書、個人の場合は住民票の字体で記入する。

◎【変更前】

元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

氏名 2 6 生年月日 年 月 日

備考 常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、別紙による。

(第三面)

(3) 下記の者は、次のとおり5年以上の建設業の労務管理の業務経験を有し、上記の常勤役員等を直接に補佐する者として適切に配置するものであることに相違ありません。

令和 2 年 4 月 1 日

地方整備局長
北海道開発局長
青森県 知事 殿

青森市長島1丁目1番1号
申請者 青森土木 株式会社
届出者 代表取締役 青森 太郎

役職名等 工事部長

許可申請の場合は「届出者」を消し、変更届の場合は「申請者」を消す。

経験年数 平成 27 年 4 月 から 令和 2 年 12 月 まで 満 5 年 8 月

証明者と被証明者との関係 社員

備考

申請又は届出の区分 2 7 1 (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等を直接に補佐する者の更新等)

項番17の区分が「2」又は「3」の場合に記入

変更の年月日 令和 年 月 日

更新、業種追加、般特新規等で従前の経營業務の管理責任者に変更がない場合は、区分「3」を選択する。

青森県知事 02 大臣知事コード

許可番号 2 3 国土交通大臣知事許可(般特-) 第 号 許可年月日 令和 年 月 日

項番17が「1」以外の場合に記入する。許可日が複数ある場合は、最も古いものを記入する。右詰で記入し、左余白は「0」で埋める。

◎【新規・変更後・常勤役員等を直接に補佐する者の更新等】

氏名のフリガナ 2 8 ク ド 元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕

姓の最初2文字を記入。濁音、半濁音も含んで1文字とする。

氏名 2 9 工 藤 生年月日 S 年 月 日

住所 青森市本町9番99号 姓と名の間は1マス空ける。法人の場合は登記事項証明書、個人の場合は住民票の字体で記入する。

◎【変更前】

氏名 3 0 元号〔令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M〕
生年月日 年 月 日

備考 常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、別紙による。

(第四面)

(3) 下記の者は、次のとおり5年以上の建設業の業務運営の業務経験を有し、上記の常勤役員等を直接に補佐する者として適切に配置するものであることに相違ありません。

令和 2 年 4 月 1 日

地方整備局長
北海道開発局長
青森県 知事 殿

青森市長島1丁目1番1号
申請者 青森土木 株式会社
届出者 代表取締役 青森 太郎

役職名等 工事部長

許可申請の場合は「届出者」を消し、変更届の場合は「申請者」を消す。

経験年数 平成 27 年 4 月 から 令和 2 年 12 月 まで 満 5 年 8 月

証明者と被証明者との関係 社員

備考

申請又は届出の区分 3 1 1 (1. 新規 2. 変更 3. 常勤役員等を直接に補佐する者の更新等)

項番17の区分が「2」又は「3」の場合に記入

変更の年月日 令和 年 月 日

更新、業種追加、般特新規等で従前の経營業務の管理責任者に変更がない場合は、区分「3」を選択する。

青森県知事 02 大臣知事コード

許可番号 2 3 国土交通大臣知事許可 (般特-) 第 号 許可年月日 令和 年 月 日

項番17が「1」以外の場合に記入する。許可日が複数ある場合は、最も古いものを記入する。右詰で記入し、左余白は「0」で埋める。

◎【新規・変更後・常勤役員等を直接に補佐する者の更新等】

氏名のフリガナ 3 2 ク ド 元号 [令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M]

姓の最初2文字を記入。濁音、半濁音も含んで1文字とする。

氏名 3 3 工 藤 四 郎 生年月日 13 14 0 年 16 18 0 月 0 日 1 日

住所 青森市本町9番99号 姓と名の間は1マス空ける。法人の場合は登記事項証明書、個人の場合は住民票の字体で記入する。

◎【変更前】

氏名 3 4 3 5 10 元号 [令和R、平成H、昭和S、大正T、明治M]
生年月日 13 14 年 16 18 月 日

備考 常勤役員等を直接に補佐する者の略歴については、別紙による。